

受講
無料

53回

格差問題への福祉実践からのアプローチ

～ 支援・サービスギャップへの挑戦 ～

TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY

実学臨床研究

セミナー



※ 本学大学院総合福祉学研究科社会福祉学専攻の授業科目としても開講されています

■ 開催日時 2026年 1月15日(木) 18:30 - 20:00

■ 受講方法 Zoomオンライン開催 ※ Zoom情報は開催2日前より送付します

■ 申込方法 Web専用サイト(Peatix)より登録 <https://jitsugaku-seminar25.peatix.com/view>

1月15日(木)12時までにお申込み下さい



生活困窮世帯の子ども 体験格差・学習格差へのアプローチ

■ テーマ趣旨

生活困窮世帯の子どもたちは、経済的理由から学習機会や体験活動に参加しづらく、学力差や自己肯定感の低下が生じやすいといわれています。そこで、今回のセミナーでは、この「体験格差」と「学習格差」の背景を理解した上で、子どもの学習・生活支援事業や地域・企業と協働しながらの体験プログラムなどの実施を通じて、これらの問題へアプローチしているNPO法人「アスイク」の実践的取り組みに焦点を当てます。そして「体験格差」や「学習格差」の現状と諸問題について考えるとともに、実践者として留意すべき視点などについても理解を深めたいと思います。

■ 福祉実践・実践研究への手がり

格差は、自分の努力や意志ではどうすることもできない他律的なことです。また、OECDは、教育の公正性を「本人が選べない条件によって結果が異なること」と定義しています。その意味でも、困窮世帯の子どもたちが直面する学習格差・体験格差は実践上解決すべき大きな課題の一つです。子どもたちが置かれている環境を実践現場から発信することにより、福祉実践及び研究の在り方を提示します。

■ 講師紹介

阿部 裕二(あべ・ゆうじ)

東北福祉大学総合福祉学部 教授
専門は社会保障、貧困研究。現在は、重層的な所得保障の再構築や地域における第三の居場所などを研究テーマとしている。

大橋 雄介(おおはし・ゆうすけ)

NPO法人アスイク代表理事、社会福祉法人明日育福祉会理事長
こども家庭庁、自治体の審議会委員、中間支援組織などを通じた政策提言にも取り組んでいる。

■ キーワード

体験格差 学習格差 協働

■ 企画 TFU実学臨床研究セミナー実行委員会



【お問い合わせ】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局

(実習支援センター 実学臨床教育推進室内)

TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293

E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp

※平日8:30～17:30(土日・祝日不在)

次回(54回)のお知らせ

日時 2月12日(木) 18:30-20:00

東北福祉大学
Tohoku Fukushi University

20251210